

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2020/geom-2/

東京工業大学理学院数学系

2021年01月21日

測地線

命題

測地線 $\hat{\gamma}$ の速度ベクトルの大きさは一定 .

(したがって測地線 の概念は曲線のパラメータによる .)

例

- ▶ 平面上の直線は、弧長パラメータで表示すれば測地線である .
- ▶ 球面上の大円 (球面と、その中心を通る平面との共通部分) は弧長パラメータで表示すれば測地線である .

測地線

 $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$: 正則曲面; $\gamma(t) = (u(t), v(t)) : U$ 上の曲線; $\hat{\gamma} = p \circ \gamma$

定義

 $\hat{\gamma}$ が測地線 a geodesic であるとは、 $\left[\begin{smallmatrix} \ddot{\gamma} \\ \dot{\gamma} \end{smallmatrix} \right]^T = \mathbf{0}$ が成り立つこと .

測地線

例

正則曲面 $p(u, v) := (\cos u \operatorname{sech} v, \sin u \operatorname{sech} v, v - \tanh v)$ 上の、 $u^2 + \cosh^2 v = a^2$ に対応する曲線 ($a > 1$) は弧長パラメータで表示すると測地線である .問題 4-2; $|\kappa_n / \kappa| = 1$.

測地線

命題

各 t で $\hat{\gamma}(t)$ が $\{\dot{\hat{\gamma}}(t), v \circ \gamma(t)\}$ と一次従属なら、 $\hat{\gamma}$ を弧長パラメータ s で表した曲線は測地線 .

準測地線

内的な量

正則曲面 $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$ に関する量のうち、第一基本量 E, F, G のみによって表されるものを内的 intrinsic な量という .

- ▶ 長さ (弧長)
- ▶ 角度
- ▶ 面積
- ▶ Gauss 曲率
- ▶ 測地線

双曲平面

- ▶ 擬球面 $p(u, v) = (\operatorname{sech} v \cos u, \operatorname{sech} v \sin u, v - \tanh v)$ ($v > 0$)
- ▶ 第一基本形式: $ds^2 = \operatorname{sech}^2 v du^2 + \tanh^2 v dv^2$
- ▶ 座標変換: $(\xi, \eta) = (u, \cosh v)$: $ds^2 = \frac{d\xi^2 + d\eta^2}{\eta^2}$ ($\eta > 1$)
- ▶ 拡張: $ds^2 = \frac{d\xi^2 + d\eta^2}{\eta^2}$ ($\eta > 0$)
- ▶ $K = e^{-2\sigma} \Delta \sigma = -1$. ($ds^2 = e^{2\sigma} (d\xi^2 + d\eta^2)$) (問題 5-2) .
- ▶ 測地線: (ξ, η) 平面 ($\eta > 0$) 上の ξ 軸上に中心をもつ半円 .

双曲平面

 (U, ds^2) ; $U = \{(\xi, \eta); \eta > 0\}$; $ds^2 = \frac{1}{\eta^2} (d\xi^2 + d\eta^2)$

- ▶ Gauss 曲率 -1
- ▶ 測地線は ξ 軸上に中心をもつ半円または ξ 軸に直交する半直線 .

事実

双曲平面は、 \mathbb{R}^3 の曲面として実現できない (D. Hilbert, 1901)

- ▶ $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$: 正則曲面
- ▶ $\gamma_1(t), \gamma_2(t), \gamma_3(t)$ ($0 \leq t \leq 1$): U 上の曲線
- ▶ $\gamma_1(1) = \gamma_2(0) = B, \gamma_2(1) = \gamma_3(0) = C, \gamma_3(1) = \gamma_1(0) = A$
- ▶ これらが囲む領域 $\triangle ABC$ が閉円板と同相.

Theorem (Gauss-Bonnet の定理, テキスト 定理 10.6)

線分 $\hat{\gamma}_j = p \circ \gamma_j$ ($j = 1, 2, 3$) が測地線であるとき,

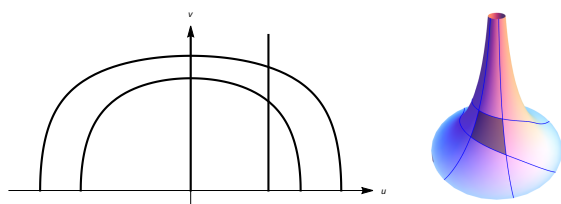
$$\angle A + \angle B + \angle C = \pi + \int_{\triangle ABC} K dA \quad (dA = \sqrt{EG - F^2} du dv).$$

問題 (問題 3-1)

$U = \{(u, v); v > 0\}$ で定義された曲面の第一基本形式が $ds^2 = \operatorname{sech}^2 v du^2 + \tanh^2 v dv^2$ となるとする. U 上の曲線 $u^2 + \cosh^2 v = a^2$ ($a > 1$) に対応する曲面上の曲線を C_a , 直線 $u = b$ ($b \in \mathbb{R}$) に対応する曲面上の曲線を L_b とするとき,

1. C_a の長さを求めなさい.
2. C_a と L_b の交点 P における交角を求めなさい.
3. $\bar{\Omega} := \{(u, v) \in U; a_1^2 \leq u^2 + \cosh^2 v \leq a_2^2, 0 \leq u \leq b\}$ に対応する曲面上の閉領域の面積を求めなさい. ただし a_1, a_2, b は $1 < a_1 < a_2, 0 < b < \sqrt{a_1^2 - 1}$ を満たす定数である.

問題 3-1



$$\begin{aligned} \text{(面積)} &= \cos^{-1} \frac{b}{a_2} - \cos^{-1} \frac{b}{a_1} \\ \text{(内角の和)} &= 2\pi - \cos^{-1} \frac{b}{a_2} + \cos^{-1} \frac{b}{a_1}. \end{aligned}$$

大域的な Gauss-Bonnet の定理

定理 (大域的な Gauss-Bonnet の定理 (テキスト定理 10.7))

コンパクトで向き付けられた 2 次元多様体 S 上で定義された大域的な正則曲面 $p: S \rightarrow \mathbb{R}^3$ に対して

$$\int_M K dA = 2\pi\chi(S) = 2\pi(2 - 2g)$$

が成り立つ. ただし K, dA はそれぞれ曲面の Gauss 曲率, 面積要素, $\chi(S)$ は S の Euler 数, g は閉曲面 S の種数 genus である (テキスト §10 参照).

ご聴講ありがとうございました